

平成29年度 地域会館アンケート調査の概要

1 調査目的

地域主体のまちづくりの推進に向け、地域住民活動の最も身近な拠点として大きな役割を担っている地域会館が持続的に維持されるよう、その現状や課題を把握するため。

2 調査の経過等

本調査は、平成25年度に実施した「地域会館に係るアンケート」から4年が経過し、経年による傾向の変化及び現状・課題を把握するため実施した。

前回は予備調査と会館を所有していると回答があった町内会に再度調査を行ったが、今回は1回の調査とし、その結果、質問項目の一部に変更があるが、主要な質問項目は前回に引き続き調査している。

本調査は任意であるため、前回、回答があったが今回調査時には未回答の団体があり、件数のみでは比較できないが、大きな傾向を把握することができるものと考えている。

3 調査対象及び回答数

- ・調査対象 市内全町内会
- ・調査数 1,244 団体（平成29年4月1日現在で把握した団体）
- ・回答数 799 団体（回答率：64.2%）

4 調査方法等

- ・調査方法 調査票配布・回収ともに郵送
- ・期間 平成29年9月25日～平成29年10月31日

5 結果概要

(1) 会館所有に関する回答状況（対象799件）

所有状況についての回答は、会館を持っているが295件(36.9%)、会館を持っていないが504件(63.1%)となっている。

また、「会館を持っていない又は10年以上前に解体した」が490件(61.3%)と最も高く、次いで「町内会で会館を持っている」が162件(20.3%)、「自分の町内会を含めた複数の町内会で会館を持っている」が129件(16.1%)、「以前は持っていたが、過去10年以内に解体した」が14件(1.8%)、「町内会と複数の町内会の両方で持っている」が4件(0.5%)の順となっている。

今回の結果を平成25年度調査と比較すると、「町内会で会館を持っている」が0.5ポイント、「自分の町内会を含めた複数の町内会で会館を持っている」が2.7ポイント、「町内会と複数の町内会の両方で持っている」が0.2ポイント低く、「会館を持っていない」が3.3ポイント高くなっている。

(2) 単国会館の基本情報（対象180件）

上記5-(1)で、会館を持っていると回答した町内会は295件であるが、1つの会館について複数の町内会で回答しているケースがあるほか、市営住宅、住民センター、公民館、マンション等で町内会が所有していないケースが含まれていたことから、経年変化を把握するた

めにも、これらを除いた 180 館（うち 2 つの町内会が 2 館所有）を単独の会館としてカウントし、5-(2)から(3)までは単独の 180 館についての概要とする。

なお、建物の所有者については、「町内会又は管理運営団体」が 89 件・49.4%(前回は 96 件・52.2%)と最も高く、次いで「町内会等の関係者」が 54 件・30%(前回は 55 件・29.9%)となっている。

ア 会館の築年数

築年数について全体では、「30 年以上」が 94 件(52.2%)、次いで「10 年から 29 年」が 44 件(24.4%)、10 年未満が 2 件(1.1%)の順となっており、「不明・無回答」が 40 件(22.2%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「30 年以上」が 4.3 ポイント、「10 年から 29 年」が 9.3 ポイント、10 年未満が 2.2 ポイント低くなっている。

イ 構造

構造について全体では、「一戸建て」が 162 件(90%)、次いで「建物の一室」が 6 件(3.3%)、「その他」が 5 件(2.8%)の順となっており、「不明・無回答」が 7 件(3.9%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「一戸建て」が 3.5 ポイント低く、「建物の一室」が 0.6 ポイント高く、「その他」が 1 ポイント低くなっている。

ウ 材質

材質について全体では、「主に木造」が 153 件(85%)、次いで「その他」が 7 件(3.9%)、「木造と鉄骨の両方」が 6 件(3.3%)、「主に鉄骨」が 3 件(1.7%)の順となっており、「無回答」が 11 件(6.1%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「主に木造」が 3 ポイント低く、「主に鉄骨」が 0.6 ポイント高く、「木造と鉄骨の両方」が同率、「その他」が 1.5 ポイント低くなっている。

(3) 会館の状況と今後の方向性（対象 180 件）

ア 今後の方向性

今後の方向性について全体では、「会館を使い続ける」が 151 件(83.9%)、次いで「老朽化等で取り壊し」が 8 件(4.4%)、「老朽化等で建替え」が 4 件(2.2%)、「使い勝手が悪く建替え」が 2 件(1.1%)、「使い勝手が悪く取り壊し」が 0 件の順となっており、「無回答」が 15 件(8.3%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「老朽化等で建替え」が 0.6 ポイント高く、「使い勝手が悪く建替え」が同率、「老朽化等で取り壊し」が 1.2 ポイント高く、「使い勝手が悪く取り壊し」が 0.5 ポイント、「会館を使い続ける」が 9.1 ポイント低くなっている。

イ 建て替える場合の予定

建て替える場合の予定について全体では、「必要な規模の会館を建設」が 4 件(66.7%)、次いで「プレハブ等の安価でコンパクトな会館の建替え」が 2 件(33.3%)、「その他」が 0 件の順となっている。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「必要な規模の会館を建設」が 8.3 ポイント低く、「プレハブ等の安価でコンパクトな会館の建替え」が 8.3 ポイント高くなっている。

ウ 取り壊す場合の活動場所（該当するもの全てに○）

取り壊す場合の活動場所について全体では、「最寄りの公共施設」が3件(30%)、「会長等の自宅」が3件(30%)と同率で、次いで「空き家、未利用の建物を借上げ」が2件(20%)、「その他」が2件(20%)と同率、「他の町内会が所有する会館」が0件、「民間の有料貸室」が0件と同率の順となっている。

今回の結果を平成25年度調査と比較すると、「最寄りの公共施設」が20ポイント、「他の町内会が所有する会館」が16.7ポイント低く、「空き家、未利用の建物を借上げ」が3.3ポイント、「会長等の自宅」が13.3ポイント高く、「民間の有料貸室」が33.3ポイント低く、「その他」が3.3ポイント高くなっている。

エ 建物や設備の状況

建物や設備の状況について全体では、「築年数に応じた老朽化や損傷がある」が79件(43.9%)、次いで「細かいところに老朽化や損傷があるが問題ない」が53件(29.4%)、「かなり老朽化や損傷している」が20件(11.1%)、「老朽化や損傷が見受けられず問題ない」が17件(9.4%)の順となっており、「無回答」が11件(6.1%)であった。

今回の結果を平成25年度調査と比較すると、「老朽化や損傷が見受けられず問題ない」が8.9ポイント低く、「細かいところに老朽化や損傷があるが問題ない」が2.5ポイント、「築年数に応じた老朽化や損傷がある」が4.7ポイント、「かなり老朽化や損傷している」が3.6ポイント高くなっている。

オ 建物や設備の修繕状況

修繕の状況について全体では、「壊れた場合、修繕・更新等している」が105件(58.3%)、次いで「こまめに修繕・更新等している」が41件(22.8%)、「修繕・更新等が十分にできていない」が21件(11.7%)、「修繕・更新等が全くできていない」が2件(1.1%)の順となっており、「無回答」が11件(6.1%)であった。

今回の結果を平成25年度調査と比較すると、「こまめに修繕・更新等している」が1.6ポイント低く、「壊れた場合、修繕・更新等している」が23.9ポイント高く、「修繕・更新等が十分にできていない」が5ポイント、「修繕・更新等が全くできていない」が18.9ポイント低くなっている。

カ 旭川市補助制度の3年以内の利用予定（新設問）

補助制度の3年以内の利用予定について全体では、「今のところ利用予定はない」が143件(79.4%)、次いで「修繕で利用予定」が21件(11.7%)、「増改築で利用予定」が2件(1.1%)、「新築で利用予定」が0件の順となっており、「無回答」が14件(7.8%)であった。

※ 補助制度に関する主な意見

- ・ 更なる補助制度の充実が必要。
- ・ 補助割合や上限額と下限額の変更、解体を含めた補助対象事項を拡充してほしい。
- ・ 上限額内で全額補助してほしい。
- ・ 会館の使用回数は少なくなってきたが、町内会の行事を行う上では会館は必要。地域発展のためにも補助制度は残すべき。
- ・ 改築・新築をしたいが、町内会費からは使用できなくなったときの解体費用を残していくことで精一杯。改築・新築の制度改善をしてほしい。

(4) 会館を持っていない町内会の状況（対象 504 件）

ア 町内会活動（総会、各種行事）の場所（該当するもの全てに○）

活動場所について全体では、「最寄りの公共施設」が 212 件(32.4%)、次いで「会長等の自宅」が 138 件(21.1%)、「その他」が 114 件(17.4%)、「民間の有料貸室」が 81 件(12.4%)、「他の町内会が所有する会館」が 67 件(10.2%)の順となっており、「無回答」が 42 件(6.4%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「最寄りの公共施設」が 5.3 ポイント高く、「他の町内会が所有する会館」が 1.5 ポイント、「会長等の自宅」が 3.3 ポイント、「民間の有料貸室」が 1.8 ポイント、「その他」が 1.4 ポイント低くなっている。

イ 会館の必要性

会館の必要性について全体では、「活動に支障はなく、必要性を感じない」が 278 件(55.2%)、次いで「活動に支障はあるが、必要性を感じない」が 105 件(20.8%)、「活動に支障はないが、持つ必要性を感じる」が 58 件(11.5%)、「活動に支障があり、持つ必要性を感じる」が 15 件(3%)の順となっており、「無回答」が 48 件(9.5%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「活動に支障はなく、必要性を感じない」が 5.8 ポイント低く、「活動に支障はあるが、必要性を感じない」が 2.4 ポイント、「活動に支障はないが、持つ必要性を感じる」が 0.3 ポイント高く、「活動に支障があり、持つ必要性を感じる」が 0.1 ポイント低くなっている。

※ 会館を持つ必要性を感じる主な意見

- ・打合せの度に会長宅を利用し、家族に迷惑をかけている。
- ・総会は 10 分以上歩いた場所の会館を使用しているが、不便さを感じている。役員会は会長宅を使っているため会館があればと思っている。
- ・他の町内会館や会長宅を使用しているが、自主的に活動するためにも、将来的には会館を持つ必要性を感じている。
- ・会館を使用できるうちは使用するが、使用不能となった場合は町内会活動が休止し、最終的には市民委員会や町内会の解散につながるのではないかと危惧している。

ウ 仮に会館を持った場合

仮に会館を持った場合について全体では、「空き家、未利用の建物を借上げ」が 45 件(60.8%)、次いで「プレハブ等の安価でコンパクトな会館の建設」が 11 件(14.9%)、「必要な規模の会館を建設」が 8 件(10.8%)、「その他」が 7 件(9.5%)の順となっており、「無回答」が 3 件(4.1%)であった。

今回の結果を平成 25 年度調査と比較すると、「必要な規模の会館を建設」が 0.5 ポイント高く、「プレハブ等の安価でコンパクトな会館の建設」が 6.9 ポイント低く、「空き家、未利用の建物を借上げ」が 9.5 ポイント、「その他」が 0.5 ポイント高くなっている。

エ 仮に会館を持った場合、補助制度の 3 年以内の利用予定（新設問）

補助制度の利用予定について全体では、「利用する予定はない」が 47 件(64.4%)、「利用する予定がある」が 7 件(9.6%)、「無回答」が 19 件(26%)であった。

※ 補助制度に関する主な意見

- ・新築する土地や借受け対象となる物件がない。
- ・市民活動の拠点は会館が多い。しかし、町内会費のみで運営しているので、会館を持つ

ことは困難である。何とか希望をかなえたい。

- ・ 新築の意見があり検討中であるが、設置が決まれば利用したい。
- ・ 全額補助にしてほしい。
- ・ 補助申請の手続きの簡素化が必要だと思います。

(5) 会館を持つことについての主な意見（自由意見）

※ 自由意見の記載は合計 319 件であったが、そのうち、会館を必要としない意見や維持管理（人的負担含む）、費用負担等に問題を持っている意見を合わせると 180 件(56.4%)あった。また、意見の傾向は次のアの(ア)から(オ)のとおり

ア 自由意見の傾向

- (ア) 会館を必要としていない意見等 97 件(30.4%)
他町内会館や公共施設を利用，維持管理や費用をかけてまで持てない，会員数や活動数が減少しているので必要がない等
- (イ) 会館を持つことによる問題点等 83 件(26%)
人的・費用的負担が重く維持が困難，老朽化による維持費の困難，行政の費用支援等
- (ウ) 会館の必要性（あればこんなことができる等） 50 件(15.7%)
会館があることで地域コミュニティが良くなる，地域活動のほか，趣味・サークル活動等の交流の場に役立つ，高齢化が進む中，世代間交流・地域の支え合い等の醸成につながる，空き家を再利用し，活動拠点を検討する等
- (エ) 会館がないことでの問題点 29 件(9.1%)
会長宅等の個人宅に負担をかけている，公共施設を利用しているが，日程調整に不便を感じる，高齢化が進み会場まで遠く不便で参加の減少が危惧される等
- (オ) その他の意見 60 件(18.8%)
会館を持つことの利点と課題，市の助成なしでは維持できない，市有施設(学校・保育所等)を町内会活動に開放，小学校区に 1 つは活動の場とした公共施設がほしい等

(6) まとめ

○ 今回の調査における単国会館の 180 件のうち，151 件・83.9%(前回は 93%)がこのまま会館を使い続けることを考えている。

また，会館を持っていないと回答した町内会 504 件のうち，73 件が会館を持つ必要性を感じており，そのうちの 60.8%(前回は 51.3%)が「空き家等の利用」，14.9%(前回は 21.8%)が「プレハブ等で建設」，10.8%(前回は 10.3%)が「必要に応じた規模の会館の建設」により地域会館を持ちたいと考えている。

このことから，活動している単国会館の件数と会館を持つ必要性を感じている件数を合わせると，253 件が地域活動の場として会館が必要な状況にあると言える。

○ 一方，自由意見の傾向から，「会館を必要としていない」と「会館を持つことによる問題点」の意見を合わせると 56.4%と半数以上あり，人的・費用的負担が重く会館の維持が困

難な状況であり、今後、会館を管理・運営・維持していくことに対しての不安が浮き彫りになっている。

また、同時に実施した「旭川市町内会・自治会調査」では、83件が会館維持・管理費の予算不足と回答している町内会があった。

○ 単国会館の過半数が築30年以上であり、現在、55%の会館が老朽化や損傷等の問題を持っている状況にある。また、81.1%は修繕をできる状況にあるが、12.8%が「修繕が十分にできていない」又は「修繕が全くできていない」状況となっている。

○ 会館の方向性の設問では、83.9%(前回は93%)が会館を使い続けると回答があったが、築年数の状況からして今後、会館の老朽化が進んでいくことが考えられる。

今回の調査から、地域活動の場として会館が必要な状況ではあるが、人的・費用的負担が重く、会館を管理・運営・維持することに不安を感じている傾向があるので、本市では、地域主体のまちづくりの推進において、地域住民の主体的な活動を助長するためにも、地域会館等建設費補助金制度の見直しを検討するとともに、空き家の利活用に関する施策の検討、更には学校を含めた公共施設での地域活動についての検討等を行い、地域住民の活動を効果的に支援していくことが必要と考える。

平成29年度「地域会館アンケート」(調査結果)

1 調査対象及び回答数

(1) 調査対象 市内全町内会長

(2) 調査数 1,244町内会

(3) 回答数 799町内会(回答率:64.2%)

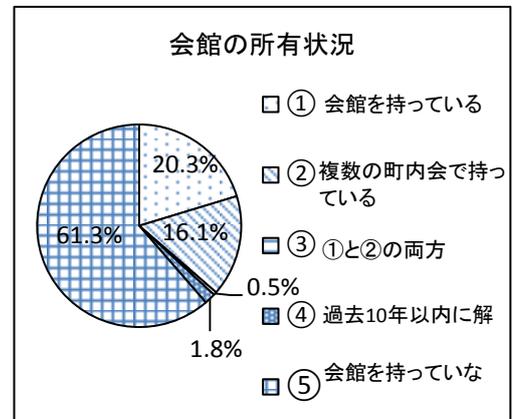
(4) 会館所有と回答した数 295町内会

(A:市営住宅, 住民センター, 公民館, マンション, 1つの会館を複数町内会が回答したもの等含む)

(5) 単国会館数(上記(4)のうち, Aを除いた会館)180会館(うち2町内会が2館所有)

2 会館所有に関する回答状況(1つだけ○)

	件数	割合
① 町内会で会館を持っている	162	20.3%
② 自分の町内会を含めた複数の町内会で会館を持っている	129	16.1%
③ ①と②の両方である	4	0.5%
④ 以前は持っていたが, 過去10年以内に解体した	14	1.8%
⑤ 会館を持っていない又は10年以上前に解体した	490	61.3%
合計	799	100.0%

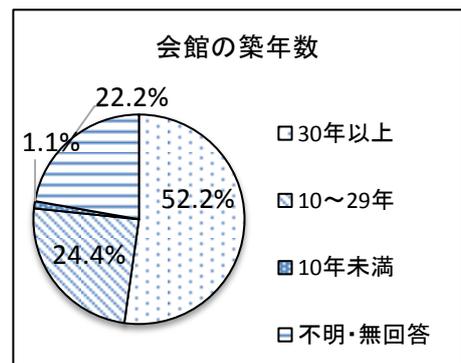


3 地域会館の基本情報について(単国会館180件)

(1) 会館のおおよその建築時期と築年数

建築時期	件数	割合
昭和10~19年	0	0.0%
昭和20~29年	5	2.8%
昭和30~39年	8	4.4%
昭和40~49年	31	17.2%
昭和50~59年	33	18.3%
昭和60~63年	14	7.8%
平成1~9年	27	15.0%
平成10~19年	16	8.9%
平成20年以降	2	1.1%
「元号」のみ記載	9	5.0%
不明・無回答	35	19.4%
合計	180	100.0%

築年数	件数	割合
70年以上	1	0.6%
60~69年	6	3.3%
50~59年	30	16.7%
40~49年	26	14.4%
30~39年	31	17.2%
20~29年	27	15.0%
10~19年	17	9.4%
10年未満	2	1.1%
不明・無回答	40	22.2%
合計	180	100.0%



(2) 会館はどのような構造ですか。(それぞれ該当するものに○)

ア 構造

	件数	割合
① 一戸建て	162	90.0%
② 建物の一室	6	3.3%
③ その他	5	2.8%
無回答	7	3.9%
合計	180	100.0%

「③ その他」として記載されていたもの
 ・バス改修(2) ・プレハブ作り(2)
 ・2戸建ての一室

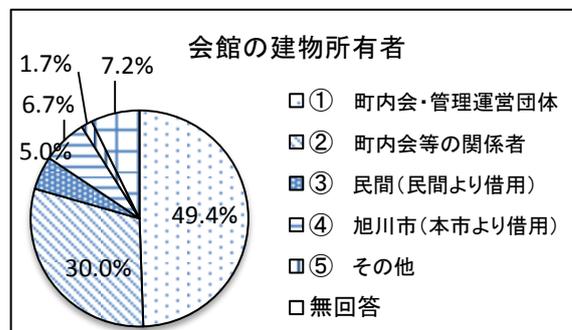
イ 材質

	件数	割合
① 主に木造	153	85.0%
② 主に鉄骨(鉄筋コンクリート)	3	1.7%
③ 両方(①と②)	6	3.3%
④ その他	7	3.9%
無回答	11	6.1%
合計	180	100.0%

「④ その他」として記載されていたもの
 ・ブロック(2) ・プレハブ(3)
 ・軽量鉄骨 ・木造モルタル

(3) 会館の建物の所有者を次からお選びください。(1つだけ○)

	件数	割合
① 認可地縁団体(町内会又は管理運営団体)	89	49.4%
② 町内会等の関係者(会長など)	54	30.0%
③ 民間(民間から借用)	9	5.0%
④ 旭川市(本市より借用)	12	6.7%
⑤ その他	3	1.7%
無回答	13	7.2%
合計	180	100.0%



※「⑤ その他」としては、「建物は町内、土地は個人より無償提供」、「神社社務所兼用」などの記載がありました。

4 会館の状況と今後の方向性について(単体会館180件)

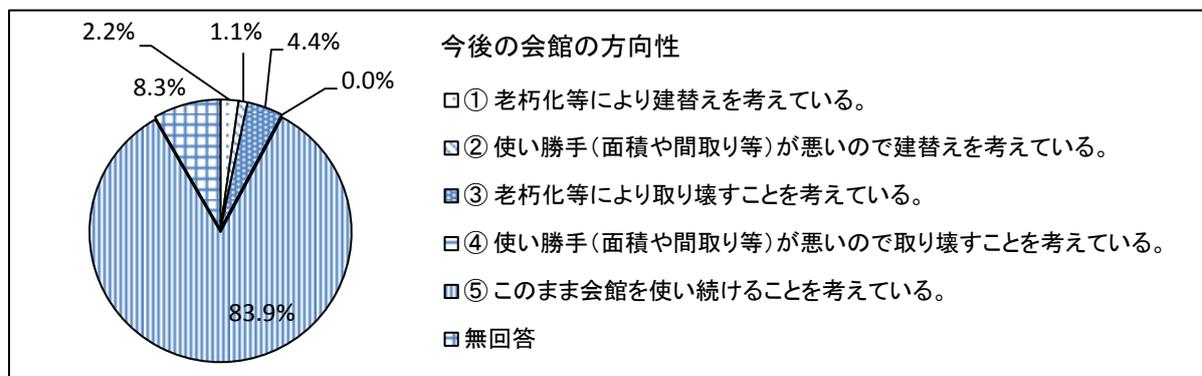
(1) 貴団体の今後の方向性を次からお選びください。(1つだけ○)

	件数	割合
① 老朽化等により建替えを考えている。	4	2.2%
② 使い勝手(面積や間取り等)が悪いので建替えを考えている。	2	1.1%
③ 老朽化等により取り壊すことを考えている。	8	4.4%
④ 使い勝手(面積や間取り等)が悪いので取り壊すことを考えている。	0	0.0%
⑤ このまま会館を使い続けることを考えている。	151	83.9%
無回答	15	8.3%
合計	180	100.0%

設問(2)へ

設問(3)へ

設問(4)へ

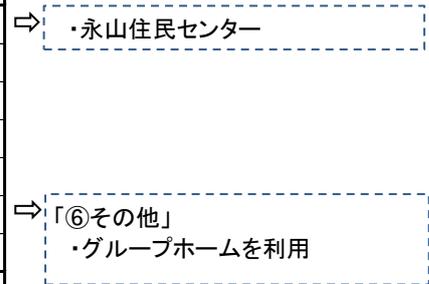


(2) 前記(1)で「①」又は「②」を選択された方にお伺いします。会館を建て替える場合、どのような会館を持ちたいか、次からお選びください。(1つだけ○)

	件数	割合
① 必要な規模の会館を建設することを考えている。	4	66.7%
② プレハブ等の安価でコンパクトな会館に建て替えることを考えている。	2	33.3%
③ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	6	100.0%

(3) 前記(1)で「③」又は「④」を選択された方にお伺いします。会館を取り壊す場合、その後の町内会等の活動は、どのように維持していきますか。(該当するもの全てに○)

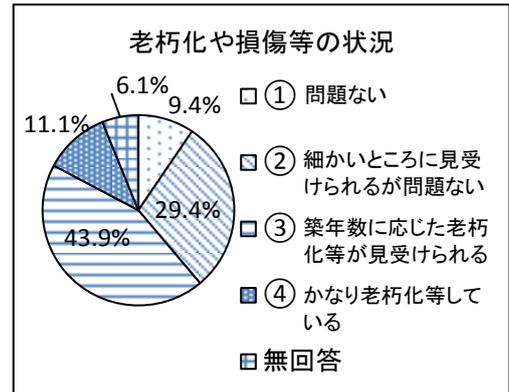
	件数	割合
① 最寄りの公共施設(住民センター、学校等)を利用	3	30.0%
② 他の町内会等が持っている最寄りの会館を利用	0	0.0%
③ 町内の空家等、未利用となっている建物を借上げて利用	2	20.0%
④ 会長や会員の自宅を利用	3	30.0%
⑤ 民間の有料貸室を利用	0	0.0%
⑥ その他	2	20.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	100.0%



(複数回答あり)

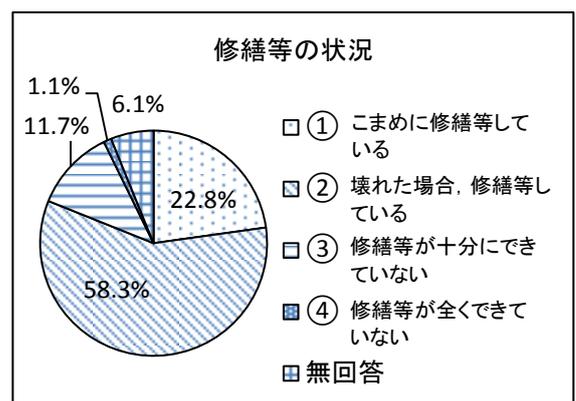
(4) 建物や設備(トイレや暖房機等)の老朽化や損傷等の状況について、次からお選びください。(1つだけ○)

	件数	割合
① 老朽化や損傷等は見受けられず問題ない。	17	9.4%
② 細かいところに老朽化や損傷等が見受けられるが問題ない。	53	29.4%
③ 築年数等に応じた老朽化や損傷等が見受けられる。	79	43.9%
④ かなり老朽化や損傷等している。	20	11.1%
無回答	11	6.1%
合計	180	100.0%



(5) 建物や設備(トイレや暖房機等)の修繕(修理工事等)の状況について、次からお選びください。(1つだけ)

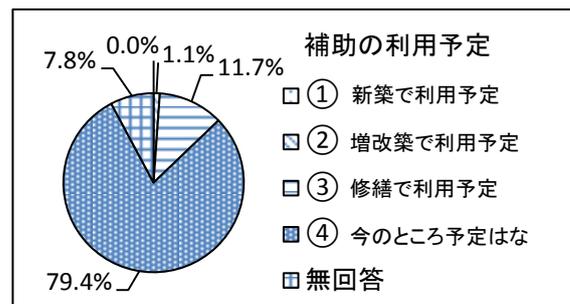
	件数	割合
① こまめに、修繕・更新等している。	41	22.8%
② 壊れた場合、修繕・更新等している。	105	58.3%
③ 修繕・更新等が十分にできていない。	21	11.7%
④ 修繕・更新等が全くできていない。	2	1.1%
無回答	11	6.1%
合計	180	100.0%



(6) 旭川市では会館の新築, 増改築, 修繕等について, 30万円以上の工事で3分の1以内(限度額700万円)の補助制度がありますが, 3年以内に利用する予定はありますか。(1つだけ○)

	件数	割合
① 新築で利用する予定がある。	0	0.0%
② 増改築で利用する予定がある。	2	1.1%
③ 修繕で利用する予定がある。	21	11.7%
④ 今のところ利用する予定はない。	143	79.4%
無回答	14	7.8%
合計	180	100.0%

※ 制度に関する意見は別紙, 調査概要のとおり

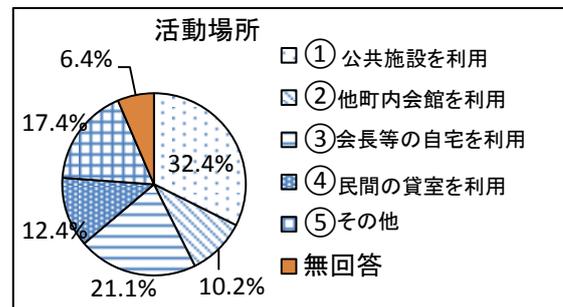


5 会館の運営状況について (記載省略)

6 会館未所有町内会の状況について(会館未所有町内会504件)

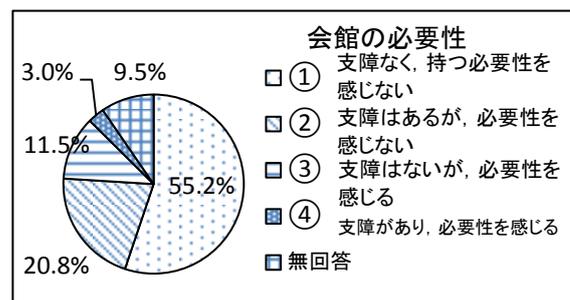
(1) 会館未所有の町内会に御回答願います。町内会活動(総会や各種行事など)は, 主にどこで実施していますか。(該当するもの全てに○)

	件数	割合
① 公共施設(住民センター, 学校等)を利用	212	32.4%
② 他の町内会等が持っている会館を利用	67	10.2%
③ 町内会の会長や会員の自宅	138	21.1%
④ 民間の有料貸室を利用	81	12.4%
⑤ その他	114	17.4%
無回答	42	6.4%
合計	654	100.0%



(2) 貴町内会における町内会活動と会館の必要性について, 次からお選びください。(1つだけ○)

	件数	割合
① 活動に支障はなく, 会館を持つ必要性を感じない	278	55.2%
② 活動に支障はあるが, 会館を持つ必要性までは感じない	105	20.8%
③ 活動に支障はないが, 会館を持つ必要性を感じる	58	11.5%
④ 活動に支障があり, 会館を持つ必要性を感じる	15	3.0%
無回答	48	9.5%
合計	504	100.0%



(3) 前記(2)で「③」又は「④」を選択された方にお伺いします。会館を持つと仮定したした場合, どんな会館を持ちたいですか。(1つだけ○)

	件数	割合
① 必要に応じた規模の会館を建てたい	8	10.8%
② プレハブ等の安価でコンパクトな会館を建てたい	11	14.9%
③ 空き家等, 利用させていない建物を借り入れて会館としたい	45	60.8%
④ その他	7	9.5%
無回答	3	4.1%
合計	74	100.0%

(複数回答あり)

(4) 前記(2)で「③」又は「④」を選択された方にお伺いします。旭川市では会館の新築、増改築、修繕等について、30万円以上の工事で3分の1以内(限度額700万円)の補助制度がありますが、3年以内に利用する予定はありますか。(1つだけ○)

		件数	割合	対象以外の複数回答含む	
①	利用する予定はない	47	64.4%	103	20.4%
②	利用する予定がある	7	9.6%	7	1.4%
無回答		19	26.0%	394	78.2%
合計		73	100.0%	504	100.0%

※ 制度に関する意見は別紙、調査概要のとおり

7 地域会館を持つことについての主な意見(自由意見)

(1) 会館を必要としていない理由等

- ・総会、役員会を年に数回行う程度。また世帯数も少なく別利用の有用性もないため、維持運営にかかる手間と経費を考えると不要と考えています。
- ・少ない世帯数と高齢者が多く、会館を必要としない。
- ・課題や問題点が数多くあり町内会の会館は今の所、必要ないと思っています。
- ・町内会館を持つことは町内会の発展につながりますが、現在のところ資金面や維持管理など課題が多く、今後のこととなります。
- ・町内会の規模が小さいため、総会や役員会等の行事は地域の公共施設の利用で間に合う。
- ・以前(30年前位)近くの町内会合同で建築の話があったが、住民センターが出来たので立ち消えになった。今思えば、少子化、高齢化の現在、維持のことを考えると良かったと思っている。

(2) 会館を持つことによる問題点等

- ・会館を持つと維持費が大変なので、現在は考えていない。
- ・会館の利用は年1~2度しかない。このまま維持・管理するのは困難になっているが、取り壊す費用もない。
- ・会館は町内会持ち回りで管理しているが、高齢化により、管理することに負担を感じる場面が多い。
- ・いずれは解体の時期が来る。その時どうするか、会館はどうしても必要なので、現在の会館より狭くてもかまわないが、借家でもやむなしと考える。
- ・近くに、いつでも利用できる便利さはあるが、他方、年々会館を維持する費用がかさむ状況にあり、この先に不安を感じる。
- ・ギリギリの状態で開催している。役員による自主管理で管理費を大幅に削減することでコスト削減に努めてきたが、これ以上は削減できず、赤字の心配が消えない。町内会費の値上げは無理であり、今後の会館存続が危ぶまれます。
- ・会館設立時には戸数も多かったが、現在は3分の1まで激減した。転入者もなく老朽化も進み維持管理も困難になってくると思う。築50年を目途に解体を考えている。
- ・会館を町内会単独で持つ場合、維持、管理に関わる資金面の問題と人的管理体制の確立の問題があり、当町内会の規模では無理が生じる。
- ・会館を持っていることで、内外装及び設備の劣化を予測し、積立金が必要です。健全な建物維持のため定期的な専門家のチェックとアドバイス体制が望まれる。
- ・会館があれば、集まりやすくなり活動にはプラスになるが、維持・管理の事を考えると、小さい私たちの町内会では必要ないと考える。
- ・会合など町内会意見交換の場や憩いの場として利用価値はあるが、維持整備について、住民の高齢化の問題もあり、マンパワーなどの不安がある。
- ・日常的に会館を管理する人間がいなく、不定期のため、若干、不安がある。
- ・会館の除雪に対する人間が高齢化し、対応する人間が少ない。
- ・年々高齢者が増えて、管理の担当者を変えたいが、担い手不足で苦慮している(冬の除雪(アプローチ、屋根))の問題、建物備品管理など

・老朽しているのが、毎年少しずつ修理・補修しているが、今後多額の費用が必要と思われる。町内では、繰越金等から毎年、積立をしている。補助制度がもう少し使用しやすくなればよいと思う。

・建物の構造が木造で老朽しており、屋根部分が昔の無落雪造りでかなり面積が大きいため、積雪の多い時は倒壊などの危険性もあり、非常に心配しています。

(3) 会館の必要性(あればこんなことができる等)

・単独会館でなく複数町会共有でもあれば、趣味等の集まりや町内会活動も実施でき、今以上に活動や町内会のコミュニケーションができる。

・会館があれば、会議以外にも様々な趣味、サークル活動等、住民の交流の場として大変役立つと考えるが、当会の資金力では到底かなわない。年配の方と若い親、子どもが集う、気軽に立ち寄れる「場所」があれば理想的だと思う。

・町内会で地域会館を持つことにより、活動等に関する会議などを比較的容易に開催できます。高齢化が進み、歩行困難の会員も多くなっていますので、町内会に会館があればいいとの意見もあります。

・高齢化が進む中、世代間交流により、地域に支え合うこと、助け合う必要性を醸成、育成に効果的である。

・共同で使用できる会館があると非常にいいと思います。会館を管理する町内会には助成金を出すなどの手当をしてほしい。

・現在、空き家の問題があるが、会館として再利用する方法はないのか検討している。

(4) 会館がないことでの問題点等

・現在町内会の会議等は公共施設(住民センター)を利用していますが、日程の調整が必要で不便を感じます。

・高齢化が進み近くの会館は必要。

・高齢者憩い家をはじめ民生委員の会議、健康サロン、町内諸会議、新年会等に活用しており、地域活動の欠かせない場となっており、会館が無くなると、これらの活動は困難になる。

(5) その他

・老人クラブで会館を運営しているが市からの補助金だけでは運営できない。電気代、水道代、家賃等支払うと何も残らない。これから冬季に向かい除雪費は無いため苦悩しています。

・会館を持たない町内会では、行事に地域の公共施設を利用することが多いと思うが、行事が集中する時期には利用が競合し、希望の日の確保が困難な場合は計画の変更や特定の会員の個人宅利用でしのぐこともある。このようなことが町内会活動を縮小し、役員の担い手不足を促進していることも考えられることから、会館を持たない町内会については年に2、3度施設利用料の助成を行い、広く会場を選択できるような制度を検討願いたい。

・会館は必要ないと思っているが、既存の住民センターに加え、市は市の施設(学校、保育所、その他の施設)について町内会活動に開放することを検討してもらいたい。

・行政の支援がなければ無理であろうと思われる。当町内会の活動は会館をできるだけ利用しない方法で行われている。なお、会議等の場合は会館を使用せず、企業の事務所を借用している。

・現状では数年後に会館の問題が出ます。町内会の会費では支障があります。公共施設の利用が必要です。小学校学区に1つあれば良いと思う。

・会館の備品(長机や椅子)の老朽・汚損化が進んでいることから、助成をお願いしたい。

・もし会館が廃止となればこれらの活動上に大きな支障が生じることは避けられないと思いますが、現状認識としては、会館を建替える賛意は各町内会の会員から得ることはとても難しいものと判断しております。そうなれば近くの他の町内会の会館、学校や民間の有料貸室など最善の対応策を講じる以外ないと考えております。